

真砂秀朗 ネイティブフルート コンサート

いのちのもり

新

inochinomori  
Hideaki Masago

12/13 (日)

開場 18:30 開演 19:00

ご予約 ¥3,000 当日 ¥3,500

(中学生 ¥1,500 小学生 ¥1,000 幼児無料)



かぜのゆい  
ご予約・お問い合わせ [風ノ結]

090-8388-1490

chun@kazenoyui.sakura.ne.jp



真砂秀朗 [Hideaki Masago]

アーティスト/ネイティブフルート奏者

「自分の中に流れているスピリットに気付いて行くこと。同調してゆくこと。そしてそれを表現してゆくこと」独自の音楽表現と共にヴィジュアルアートにおいて創作活動をしている「絵と音」のアーティスト。

世界各地のネイティブカルチャーへの旅の体験と印象から、自然と折りあう人々の原点にある感覚を多くの絵や音の新たなイメージとして生み出し、幅広く様々なメディアに提供している。

www.awa-muse.com



遠藤 晶美 Masami Endo (ギター&シンセ)

90年代、民族楽器や自然音を融合させたサウンドデザインを先駆け、その活動は公共空間のサウンド・アート、舞台・映像作品のための音楽制作、サウンドセラピーなど幅広い分野で評価を得る。

音と心の共振が織りなす波動と、生活や社会との関連における音響生態に着目し、音楽の可能性を追求する一方で、さまざまなアーティストとのコラボレーションやプロデュースをてがけ、2003年にはギタリストとしてソロ・アルバム「The Song of Earth and Sky」をsilent stoneよりリリース。



Kaz (ギター)

80年よりHard Rock,Punkなどビート系ロックで数々のライブ活動行いながら、2004年にタイで癒しの技術を学び、魂・肉体の音素(オト)呼吸(イノチ)のリズムを感じ独自で編み出したソウルフルヒーリングによりヒーリングアーティストとして全国で実践。

2008年にはヒーリングメディテーションアルバム『Into The Spirit...☆』をリリース。そしていま、大地、空、海、風を感じ自然と共に自由な音魂(サウンドスピリット)を表現。



## 若狭小浜 国宝 桐山明通寺

多年征戮するところの孤魂窮鬼を救わん

闇が濃く深いほど、光は強い輝きを放つ。仏教の法灯も、弱肉強食の時代の闇の中から誕生したことを忘れてはならない。

釈尊の非暴力・平和、生きとし生けるものへの慈悲の精神は自らの母国・釈迦族の小国が、大国の苛酷な侵略によって滅亡させられた運命と切り離し得ないのである。

明通寺創建の由来(縁起)にも、同じような時代の闇と光が明らかに反映しているのではないだろうか。征夷大將軍の坂上田村麻呂が「蝦夷鬩岡の亡魂得脱を訪わんがため」、あるいは「多年征戮するところの孤魂窮鬼を救わん」と、大同元年(806)に明通寺を創建した。と古文書類で伝承している。果敢にたたかった蝦夷側の首長の阿呂流為(アテルイ)と母禮(モレ)が降伏、処刑(斬首)されたのは延暦21年(802)。田村麻呂は二人の助命を嘆願したが、時の桓武帝や公卿たちには容れられなかったのである。

桐山明通寺住職 中島 哲演

